

常磐文藝

彷彿 飯村 蘭舟

之ぞと 目標をも 立てずに 歩行を讀み 曠漠の 田圃の中に 佇立した 爽々しき 田圃から 瞳を 町の連れる 家屋に 抛つて 夕刻の 煙突の 蔭々と 吐く 黒煙を みつめつゝ 俄に心は 此の田圃から はなれようとしな い ヒツクリと 心と田圃の土とは 合理と符合に 捉はれて 神秘的傾向に 成り行く 漸やく 断念を得て 再び爪先は 反り乍ら 邊の 風情に 賞でつゝ 今日の叢策 今日の彷彿を 易々と了つた (完)

△土地建物

賣買并二是二關ス ル萬般ノ御相談ニ 應ズ

△床板、床縁 落掛

澤山新荷着

◎大谷石本場一等 品寸法御望次第

磐城建物 株式會社

平町五丁目 電話五一八番

看護婦派出 の求めに應ず

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

毒氣ある身體にて たぬりの御方は 毒退丸の効能を 試みられよ!!! 効能としては梅毒、痔病、胎毒、淋病、消渴、健麻、贅肉等凡て毒氣ある身體 に特效あり 石城郡内郷村小島 毒退丸販賣本舖 山下重愛堂

☑ 其他全國到る處 に特約店あり

社告

初冬の候彌々御清祥奉賀上候陳者今 回正喜社と稱する廣告取次業を創業 弊社關係の廣告掲載に關し貴意を得 たるやに仄致し候處右は弊社と絶 對關係無之且つ正喜社經由の廣告は 一切掲載致さず候に付右に御諒知の 上倍舊の御後援賜はり度懇願候也 尚ほ正喜社は弊社以外各新聞の諒解を得たる旨 宣傳致し居り候趣に御座候へ共報知、東京日々 東京朝日、時事、國民の各東京新聞社支局等も 全々同社とは關係なきのみか協定したる覺えな しとの事に候間此段念の爲め併せて御諒解願上 候

いわき新報社

磐城日々新聞社

磐城新聞社

常磐毎日新聞社

いはらき 福島民報 福島民友 福島新聞 平支局

製材機械、人魚印丸鋸

自動注油メタル、プリーリー在庫 ゴムベルト、バラタベルト 平町月見町 佐藤鐵工所 電話三六二番

東京行大工 廿名募集

御希望の方は至急下記迄詳細御問 合を乞ふ 申込所 平町南町(郡役所前通) 石山精華堂 湯木町字八仙 渡邊九郎兵衛

株式買中値

左記の値段は今日の標準値 に付御用の節は御問合願候 銘柄 拂込 時價

磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	三〇〇	三〇〇
田村實業	一一五	一二五
四倉銀行	一一五	一二五
農工銀行	二〇〇	二五五
同 新	一五〇	一九〇
同 新	五〇〇	五三〇
同 新	一一五	一四五
七七銀新	一一五	九五
郡山電氣	五〇〇	三七五
同 新	二五〇	一七五
只見川電	一一五	六三
植田水電	一一五	一三五
好間水電	一一五	一三五
磐城建物	一一五	五五
磐城製菓	二〇〇	六五
平信託	五〇〇	四〇〇
磐城勸業	一一五	一三五
磐城物産	三〇〇	二五〇
平製水	二〇〇	二二〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
小名商學	一一五	一一五
小名水産	一一五	一一五
小田炭礦	二五〇	五五
磐城炭礦	五〇〇	三七五
同 新	二二五	一五〇
磐城セメ	五〇〇	九一〇
同 新	一一五	三一〇

丸登株式會社

平町南町電話三三三番 川添房二郎

一 部金貳錢 月極 二 限リ一ヶ月卅錢

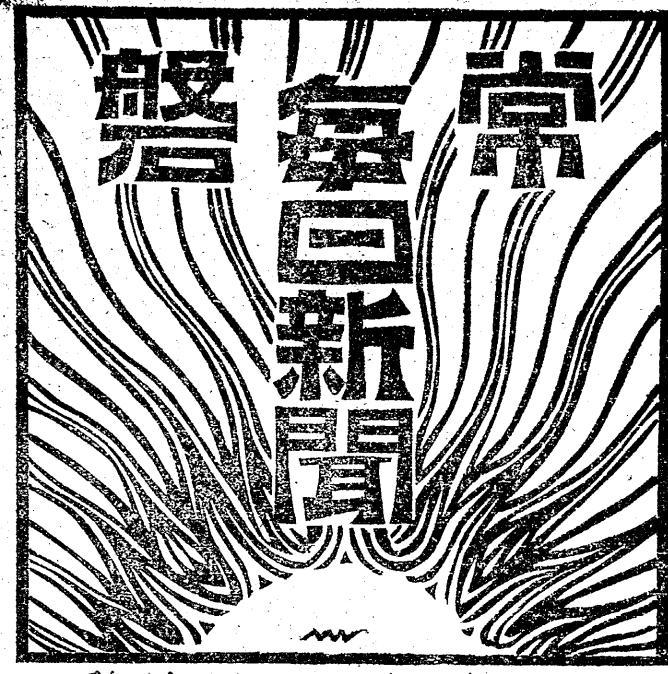
五號十三字詰 一行五十錢

日刊休 日曜 大祭 祝日の翌日

印刷所 福島縣石城郡平町 田町十六番地 磐城新聞社印刷部

發行兼 編輯人 川崎文治 印刷人

發行所 福島縣石城郡平町 字長橋町卅五番地 常磐毎日新聞社



二十二年十一月十日夕刊

新聞製作者 としての川崎君(三)

磐城新聞 柏木 哲 所謂「新聞格」に對する氏の自信

私は斯くして築き上げらるゝ新聞の色彩を「新聞格」と名づける、新聞社は不知不識の間に「新聞格」を作り出し、讀者は自ら好む其新聞格を讀んで所謂愛讀紙なるものそこに生ずる、新聞格無き所に固定した讀者は無い。各種の職業的經營や販賣政策は一時社會心理をそれが新聞格と聯絡なき以上は一片の無駄骨折となる

に過ぎないのである。併し乍ら其新聞格や一方に充鳴するもの反對者より優勢ならば其新聞は發展し反對するもの共鳴者より優勢ならば其新聞は發展し反對するもの共鳴者より優勢ならば其新聞の發展は阻害される兩者優劣なくば其新聞は何の影響をも受けること云ふ迄もない。併し乍ら社會に於ける團體の勢力は質と量と量との三方面より見なければならぬ。

質に於て當然減びべき勢力も量に於て優勢なれば數を凌ぎ質に於て當然榮ゆべき勢へも量に於て劣勢なら

ば其數も一時無視せらる。故に私は此の三方面より觀察して勢力の優勢を區別し論ずる所の新聞損が其時代に於て優勢なる共鳴者を發見したる場合には其新聞は發展し、劣勢なる共鳴者を發見したる場合には發展を阻害されると云ふのである。私の癖として「はしがが」は大分山鳥の尾の長々しいものはあるがこの程度に云つて置かねど私の對川崎論が極めて空虚に了るから致し方がない乞諒(つゞく)

募集 文藝其他一般投稿を歡迎します

豊間村は回春院に 不適地たとの一言

木村縣議に追窮され 佐藤課長口を這らす

本郡選出縣會議員木村清治氏が縣會に於て豊間村肺癆回春院の内幕を指摘し其改善を當局に迫つた際當の責任者たる衛生課長佐藤可人氏は「回春院は假阪の地にあり爲め不便多く且つ肺癆養に不適當な場所と認められるから他日適當の場所を選んで移轉したい云々」と言明したが先年同園の設置計畫當時に於ては國衰病といはるゝ程の恐ろしい肺患者の收容處を設立するのであるから石城郡は喜んで是れを希望した譯ではなく最初の候補地に擧げられた双葉郡幾代橋村を除く外は排斥運動を試みた程で縣當局は斯道の大家を招き氣候風土を調査研究の結果今の

電話架設は 村費支出決定

草野村の

石城郡草野村の電信電話架設に就いては其費用の一部を村費から支出する事となり八日の村會で一千圓を支出すべく決定したと

復興材搬出の爲め 憂ふ 民林過伐の傾向

營林監督や造林獎勵 平林區署が徹底を期す

平小林區署にては最近管内各山林業者が帝都復興の建築材料其他急増した木材の需要に應せんが爲め民林過伐の傾向を生じ延ては林業施設の基礎を紊亂する恐れある爲め此際一層の注意を促さんと民林伐採に對する營林監督保安林の施業、造林の獎勵等を始め木材の節約にも及ぶ左記數項に涉つての注意事項を計劃中である

糊ナシ切手に 就いて

森郵便局長談

現在の郵便切手や収入印紙はほんの間に合せで不便ばかりでなく偽造のたそれもあるので一日も早く従来の製造したいと手配を急いで居るらしい糊付や切取線

眞性慾 問題

女は前額部が低いし、其の彎曲も急であつて、大体小兒の頭蓋に類似して居る、此の點から見ても、女の方が男より思慮は乏しくても差支ないことになる、顔面に女には柔かみが多い、頸骨など男のやうに突き出して居ない、顔中凡て圓味を持つて居る、又顔面の皮膚は毛の生へる面積が男に比べて大に少い、尤も西洋のオールドミスなどには著しい口鬚を貯へて居るものがないでもないが、此の種の婦人は或る程度の變性男子と見ることが出来るやう、頸部も男子では筋肉が著しく張つて居るが女性では繊細な筋肉が豊富な脂肪に包まれて只柔い面と線とを示すのみである。概して首筋の細いのが女の特色である、なほ目立つのは喉頭である、男子では成年になる頃聲りなる變化に伴つて著しく喉頭が發達する女性には此事なく何時迄も小供の時の儘の喉頭である従つて聲が少く優味を帯びて居る (續)

常磐片々

石城の山林業者が復興材搬送の爲め亂伐の弊に陥る
亂伐の結果は山がハゲる
ハゲ山計りは始末に終へぬ
と小林區署が本氣でニジリ鉢巻
常磐炭一照五圓値上、従つて景氣も上がる?、待つて居るとアゴが干上る
頭上に大磐石落下して坑夫粉砕、露より軽い炭礦労働者の命

糊ナシ切手や罰金葉書

これで國家の經濟が亂れると思ふ政府の氣が知れぬ
ミンシがないため切手切手敷料や糊代は一体誰が出すんだ
成程葉書から徴収する罰金で國運隆々か

竹馬會總會

炭屋旅館にて
平小學校卒業生竹馬會の一部を以つて組織せる竹馬會にては來る十五日午後五時半から炭屋旅館に於て總會を開き會員の演説及協議ある筈

養蠶組合新設

改善を圖つて

石城郡養蠶組合では現在の組織では欠陥甚だ多い爲め更に養蠶同業組合を設立し斯業の改善を圖る目的で今十一日午前十時から郡衙内に設立協議會を開いたと

眞美善事

石城郡川前村
大字下桶賣字
高部赤塚重雄
君は當年八歳
で小學三年に
通學中である
が去る三月山
道に踏み迷つて居た按摩さ
んを自宅に連れ歸り中食頃

平裁判だより

石城郡川前村大字三澤字鍋坂飯場横山春吉方居住安達郡生れ坑夫前科三犯菅野彌(三三)は去月一日午後四時頃飲酒の

柔道と剣道を 體育擴張

平野學校にては十日午後 發會式を擧げた

平野學校にては十日午後發會式を擧げた

不平受付

平野學校にては十日午後發會式を擧げた

卒町人事

卒町人事